

地球温暖化対策技術開発事業の採択案件の概要

. 省エネ対策技術実用化開発分野

事業	省エネ型白色 LED 照明器具の普及促進のための低コスト化技術開発
提案者 (共同実施者)	大阪府環境情報センター (松下電工(株))
事業概要	照明分野の CO ₂ 排出量削減に有効である省エネ性の高い LED 照明器具の普及を促進させるため、低コスト化及び高機能化に必要な技術開発を行う。
18年度委託額	110,000千円

. 再生可能エネルギー導入技術実用化開発

事業	酵素法によるバイオマスエタノール製造プロセス実用化のための技術開発
提案者 (共同実施者)	月島機械(株) ((独) 産業総合研究所、静岡大学)
事業概要	木質系バイオマスを糖化酵素を用いて効率よく燃料用エタノールに変換する技術について、製造コストへの影響が大きい酵素のオンサイト生産システムに重点を置いた実用化開発を行う。
18年度委託額	48,000千円

事業	バイオマス粉炭ネットワークのための家庭用・業務用小型粉炭燃焼機器の開発
提案者 (共同実施者)	東京農工大学
事業概要	家庭・店舗・公共施設等でのバイオマス熱利用のために、小型全自動粉炭燃焼器の開発を行い、原理・安全性・耐久性を実証し、粉炭利用体系構築の立場からコスト・展開手法・既存技術への優位性等を評価する。
18年度委託額	21,000千円

事業	パイロコーキング技術による木質系バイオコークの製造技術とSOFC発電適用システムの開発
提案者 (共同実施者)	バイオコーク技研(株) (北海道大学、三井造船プラントエンジニアリング(株)、(株)アイテック)
事業概要	木質系バイオマスの低温乾留時に生成する処理困難なタールを炭化物(バイオコーク)としてナノ多孔質粒子に担持、回収し、このバイオコークをSOFC発電の燃料(水素および一酸化炭素)とするシステムを開発、実証する。
18年度委託額	22,000千円

・都市再生環境モデル技術開発分野

事業	都市型バイオマスエネルギー導入技術に係る学園都市東広島モデルの技術開発・実証事業
提案者 (共同実施者)	広島大学 (豊国工業(株)、中国電力(株))
事業概要	バイオマスの流動化と高効率メタン発酵、新規過熱水蒸気処理による発酵残さの資源化、廃食油の汎用エンジン燃料化等の技術を開発し、それらの有機的結合による都市型バイオマスエネルギー導入技術を実証する。
18年度委託額	85,000千円

・製品化技術開発分野

事業	地中熱利用給湯・冷暖房システムに関する技術開発
提案者 (共同実施者)	旭化成ホームズ(株) (北海道大学、日立空調システム(株)、サンポット(株))
事業概要	家庭内CO ₂ 発生量の2/3を占める冷暖房・給湯に適用でき、地中に廃熱を戻す事によりヒートアイランド現象の緩和にも貢献できる、安価でコンパクトな戸建用高効率地中熱冷暖房・給湯システムの製品化開発を行う。
18年度補助額	30,000千円

事業	通年&寒冷地でも使用可能な画期的高効率ソーラーヒートパネルを用いた給湯システムの開発
提案者 (共同実施者)	(株)ダイナックス
事業概要	「高効率選択吸収膜」と「透光性断熱材」を用い、従来品を遥かに凌ぐ高効率、低重量ソーラーヒートパネルとそれを用いた家庭用給湯システムの開発を行う。
18年度補助額	28,000千円

事業	大温度差少水量搬送方式高効率地中熱利用ヒートポンプビルマルチシステム
提案者 (共同実施者)	新日本製鐵(株) (北海道大学)
事業概要	大温度差少水量地中熱交換方式の開発により、搬送動力を低減し総合効率を大幅に向上させた、環境負荷低減に有効な高効率地中熱源ヒートポンプビルマルチシステムの開発とその設計・運用方法の開発を行う。
18年度補助額	20,000千円

18年度委託額及び補助額はいずれも予定であり、今後変更がありえる。